

第14回議会運営委員会会議記録

- 【開催日】 平成28年5月20日(金)
【開催場所】 第一委員会室
【開会・散会時間】 午後1時29分～午後1時49分
【休憩時間】 なし
【出席委員】

委員長	大井 淳一郎	副委員長	河崎 平男
委員	石田 清廉	委員	下瀬 俊夫
委員	矢田 松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外議員等】

議長	尾山 信義	副議長	三浦 英統
----	-------	-----	-------

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	事務局次長	清水 保
主査兼議事係長	田尾 忠久	庶務調査係主任主事	梅野 貴裕
議事係主任主事	原川 寛子		

【付議事項】

- 1 平成28年第1回(5月)臨時会に関する事項について
- 2 その他

【議事の概要】

1 平成28年第1回(5月)臨時会に関する事項について

(1)人事案件について

- ・人事案件は本会議で審議してほしいとの申出が総務部長からあったことを説明した。
- ・矢田松夫委員から申合せ事項の改廃について質問があった。
- ・事務局から「申合せ事項については基本的に議運で決定し、全協で承認をもらうという流れになっている。追加、修正、削除については議運で協議していただくようになる」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「申合せの具体的な流れが便覧に記載されていない。他市では申合せの改廃が記載されている」との発言があった。
- ・事務局から「あくまでも先例により行っている」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「記載がないからといって、議運で変えられないというわけではない」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「申合せは議会の約束事であり、執行側は基本的に拘束されない。申合せ事項を守らなかった場合、処分の対象になるのか」との質問があった。
- ・事務局から「申合せ事項はあくまでも解釈や運用という部分での取決めなので、これを守らないからといって罰則等の対象にはなっていない」との発言があった。

- ・下瀬俊夫委員から「申合せ事項に反するという理由で叱責をするような決議が出されている議会がある。人事案件は人権に関わる問題もあるので、質疑をできるだけ内部でやっていこうという議会内での合意である。毎回こういう議論になるが、これまでと同様に申合せに沿ってやったほうが良いと思う」との発言があった。
- ・石田清廉委員から「また今回同じような申出ということで、市長の強い思いがあるのか」との質問があった。
- ・事務局から「市長から直接ではなく、総務部長から申入れがあった。常々公開の場でと言われており、今回特別な事情があるということではない」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「これまで採点内容にまで踏み込んで議論してきたが、それを含めて公の場でやってくれということか」との質問があった。
- ・大井淳一郎委員長から「以前副委員長と市長のところに行ったときは、議案である以上全てを公開の場でやってほしいというシンプルな思いだった」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「本会議場で質疑をしても罰則がないということか。ないのであれば申合せ事項の形骸化につながるのではないか」との質問があった。
- ・大井淳一郎委員長から「本会議場で質問しても罰則規定はない」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「他市では人事案件を全協でオーケーした後、本会議で質問が出て収拾がつかず会期延長となったところもある。12月にも言ったが、市長が望んでいるのなら本会議場でやっていいのではないか」との発言があった。
- ・尾山信義議長から「申合せの内容を変えるかについては別のところで話し合っしてほしい。今回の件をどうするかを話してほしい」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「全協の位置付けについて今後話し合っていくことは以前確認した。人事案件をどうするかについて、今のところ議運の一致として申合せ事項を変えて本会議場でやるということにはなっていない。市長の思いはあるが、議会内で精査したところ現時点では申合せのとおりいきたいと考えている」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「全協を正規の機関にするかという議論と、人事案件を公開、非公開でやるというのは少し違う。何でも公開することが本当にいいかはもっと議論が必要である」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「従来どおりの取扱いでいきたい。全協の位置付けについては今後も議論していきたい」との発言があった。

2 その他

- ・事務局から「5月臨時会初日で理科大学長と事務部長が挨拶をすることとなっていたが、別会議への出席のため、6月定例会で挨拶を行うこととする」との報告があった。

平成28年(2016年)5月20日

議会運営委員会委員長 大井 淳一郎